

室内用

電波時計 取扱説明書

(デジタル電子音目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

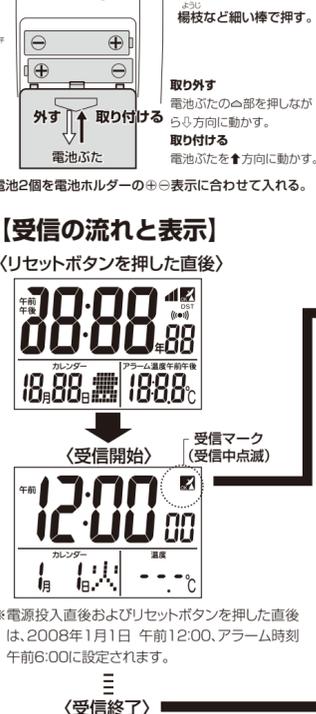
リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

電池は付属していません。単4形アルカリ乾電池を2個ご用意ください。

1 使いはじめるとき 電池を入れて、標準電波を受信して日時を合わせる

○図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、「**手動での時刻合わせ**」をお読みください。

電波を受信しやすい際際などに置いてください。

- 電池を入れる**
図のように電池を入れると「ピー」と鳴ります。短い間に電池を入れ替えることと鳴らないことがあります。
注意
電池の⊕を指示と逆向きに入れると液漏れ、発熱、破裂の危険があります。
- リセットボタンを押す**
「ピー」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します。
○必ず電池を入れた直後にしてください。
○受信中は時計に触れないでください。
- 21分経過したら受信結果を確認する**
受信時間は、最長で21分程度です。受信マークで受信結果を確認してください。
→「**受信の流れと表示**」参照

【受信の流れと表示】

リセットボタンを押した直後



受信マーク(受信中点滅)

受信成功 受信マークが点灯

受信失敗 受信マークが点滅し、アラーム音が鳴ります

受信マークは受信成功後、24～25時間点灯(受信に成功したときの表示例)

受信マークが点灯し受信成功を示しても、電気的なノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてからリセットボタンを押して、再度受信を試みてください。

電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に進むまたは戻るボタンを押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信マークが消灯し受信を中止します。

受信マークの変化
電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)

受信できない (受信マークが点滅) → 受信しやすい (受信マークが点灯)

チェック!
1～2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押して、再度受信を開始させてください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起る所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 地下、ビルの中、ビルの谷間など
- 高圧線、テレビ塔、電線の架線近く
- 朝方の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

標準電波を受信できないときは、手動で日時を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ ... 電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定してください。

年月日、時刻(時・分)でのボタン操作 操作例 2014年12月25日 午前10:37に合わせる

点滅している数値を進むまたは戻るボタンで合わせてから時刻合わせボタンを押すと数値を確認して次のステップに進みます。

進む、戻るボタンは押してすぐ離すと1つ単位に、押し続けると連続して変わります。



- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、日時の設定はできません。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

2 アラーム機能を使う

アラーム時刻の設定

- ①アラームスイッチをOFFにする
- ②進むまたは戻るボタンを押してすぐ離す
「アラーム」が点灯して、アラーム時刻が点滅。
- ③進むまたは戻るボタンでアラーム時刻を合わせる
- ④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる

アラーム時刻を表示中は「アラーム」点灯

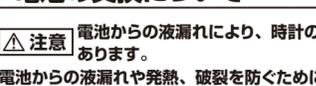


進む、戻るボタンを押してすぐ離すと1分単位に、押し続けると連続して変わります。

アラームのON/OFF設定

ON : 設定時刻にアラームが鳴る。
OFF : アラームを止める。鳴らさない。

アラーム ON アラーム OFF
アラーム時刻を表示 温度を表示



オートストップ機能(自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約2分間鳴って止まります。

スヌーズ機能(止めてもまた鳴る)

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すとアラームマーク(☼)が点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴りだします。この操作は7回まで繰り返して使用することができます。8回目にスヌーズボタンを押すとアラームは停止し、アラームマーク(☼)は点灯表示になります。

アラーム音を試聴するには

アラーム時刻を現在時刻より、1～2分進んだ時刻に合わせて、アラームスイッチをONにしてください。アラーム時刻になるとアラームが鳴り出します。

アラームご使用上の注意

アラームスイッチがONのときは、毎日アラームが鳴ります。

表示面の照明

スヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねていますので、ボタンを押すと表示面が約3秒間照明されます。

照明時は正面やや上方より見てください。他の方向から見ると読めないことがあります。

温度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

測定範囲を超えたときの表示 「H.H」 50℃より高温 「L.L」 -9.9℃より低温

設置場所について
空気がよく循環する場所に設置してください。直射日光の当たるところや冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近く、温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。

◎本製品は室内用です。厳密な温度管理や温度の証明には使えません。

電池の交換について 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

注意 電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

- 液晶表示が薄くなったり、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- 動いても1年に1回定期的に交換する。
- 電池の⊕を逆に入れない。

※電池は、同じメーカーの同じ種類の電池を使用することをお勧めいたします。

電池、時計の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、電池はテープなどで絶縁してください。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

受信機能 OFF (日時を標準電波で修正しない)
リセットボタンをおよそ1秒間隔で3回押ししてください。
○「ピー」と鳴ってから押ししてください。
○OFFになると「ピー」と鳴りません。
○日時は手動で合わせてください。

受信機能 ON (有効にして受信を開始する)
戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ピー」と鳴って受信を開始します。その後戻るボタンを離してください。
○標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

※電池を取り出して、回路内に電荷が無くなると受信機能はONになります。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、表示が欠けたりして正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットを押してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からびさせてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

おもな製品仕様

使用温度範囲 -10～50℃ (液晶表示可読温度範囲0～40℃)
時間精度 標準電波を受信成功直後 ±1秒
標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30秒 (温度が5～35℃のとき)

推奨電池 単4形アルカリ乾電池 JIS規格 LR03 2個
電池寿命 約1年
アラーム: 30秒/日、照明: 3秒/日
標準電波 標準電波を受信して日付・時刻を修正
受信局 福島局/九州局同選択
受信回数 1日8回
受信ON/OFF ボタン操作にて切替可能

アラーム精度 表示時刻に対して±0秒
アラーム音 電子音
スヌーズ アラーム音が約5分間の一時停止
オートストップ アラーム音が連続2分間で自動停止
カレンダー 2008～2099年対応
温度表示 -9.9～+50℃
温度精度 ±2℃ 測定温度範囲内の精度
照明 液晶表示部/バックライト
防水機能 なし
標準電波受信開始時刻
1:16:40, 2:16:40, 3:16:40, 4:16:40
13:16:40, 14:16:40, 15:16:40, 16:16:40

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなることがあります。40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。

※液晶表示は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 保証書 1枚

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 長期間使用しないときは電池を取り出す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 古い電池と新しい電池を混ぜて使わない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り出す。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 種類の異なる電池を混ぜて使わない。

電池の種類について

● アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

● 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

● 電池寿命は温度などの使用条件により、製品仕様より短くなる場合があります。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。
◎は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
- 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
● 電池に傷をつけない。
● 電池を分解しない。
● 電池をショートさせない。
● 電池を充電しない。
● 電池を加熱しない。
● 電池を火の中に入れない。
- 梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。
- 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない
● 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の液漏れや炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
● 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社総合サポートにてお問い合わせください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

- 電池の⊕を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。
- 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。
- 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。
- めれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。
- 分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。
- 液晶から漏れた液に素手でさわらない
液晶が破損して漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。
- 下記のような場所では使わない
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
● 直射日光が当たる所。
● 暖房機器の風が当たる所。
● 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
● 火気のある所。 ●ほこりが多く発生する所。
● 強い磁気が発生する所。
● 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
● プール、温泉場などガスの発生する所。
● 調理場など多くの油を使用する所。
● ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

電波時計について

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な日時に修正する時計です。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおかたどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://ijj.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波を受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。海外でご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてお使いください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社総合サポートにてお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

● 修理部品の保有について
電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。

● 修理可能期間について
無料保証期間が過ぎてても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 リズム総合サポート
https://rhythm.jp/support/
お客様相談室: 0120-557-005 受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。